

令和4年度予算の概要

二松学舎創立140周年(平成29年10月)を機に策定した新長期ビジョン「N'2030 Plan」により、①N'2020 Planの基本理念、フレームワーク等の踏襲 ②教育の方向性と充実策 ③包括的・学生・生徒支援体制の構築 ④キャンパス整備 ⑤財政、人材育成、評価制度、組織、戦略的広報体制等の在り方の理念・方針に沿って、5年間の「アクションプラン」として目標を設定し達成に向け全学的に取り組んでいく。

当年度は二松学舎創立145周年を迎えるにあたり各種周年記念事業を実施する。大学では文学部歴史文化学科、大学院国際日本学研究科を開設する。柏中学校は設置12年目となり、柏高等学校との中・高を通じた教育の充実と生徒募集の強化を図り定員充足を目標とする。大学・両附属高等学校・中学校とも効果的な学生・生徒募集及び広報活動を実施する。

キャンパス整備については、大学では九段キャンパスでは、基幹ネットワークの再構築(2ヵ年計画による無線LAN整備)、通信速度向上などネットワーク環境整備、新入生用ノートパソコンの配布(1人1台)、1号館6・8階トイレの改修など既存校舎の保守整備を、柏キャンパスでは1号館5階教室天井耐震化・照明器具改修工事、2号館空調設備投資工事、体育館照明器具改修整備、ネットワーク環境整備などを実施する。また、附属高等学校では校舎の防災設備および空調機器の整備、ICT教育環境整備などを、附属柏中学・高等学校では校舎空調設備交換工事、北校舎内塗装(床張替等)修繕工事(2ヵ年計画の1年目)、南校舎屋上等防水工事、パソコン教室機器類の更新、南校舎講義室プロジェクター交換などをそれぞれ計画している。

当年度収支については、収入面では大学・附属高等学校・柏高等学校の学費改訂の年次進行、大学、附属柏中学校・高等学校在籍者数増加により学納金収入が増加する見込みである。一方、支出面ではキャンパス整備の進捗に伴い、私学事業団への借入金返済のほか校舎・グラウンドの維持管理や情報システム機器の運用・保守による経費増加など、長期に亘り多額の支出が続くことが予想される。令和4年度特別事業費申請案件については厳しく査定し、経常的な経費についても見直し・削減を強力に実施する。既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを推進するとともに、アクションプランに織り込まれていない投資は極力抑え、不採算事業項目については縮小・廃止を検討し、収支改善を図ることを当年度の予算編成方針とした。

令和4年度の収支状況

1. 事業活動収支予算書について(別表1)

(1) 教育活動収支について

【収入】

- ① 収入の柱である学生生徒等納付金は、約45億7千9百万円となる見込みである。
- ② 手数料は、入学検定料を主として1億3千7百万円を見込んでいる。
- ③ 大学及び両高等学校並びに柏中学校の経常費等補助金は10億8千8百万円を見込んでいる。

- ④ 雑収入は、退職金団体からの交付金 1 億 1 千 7 百万円と併せて 1 億 7 千 8 百万円を見込んでいる。

【支出】

- ① 人件費は、大学、附属高等学校、柏中学校・高等学校の教職員給与および退職給与引当金繰入額として 30 億 7 千 2 百万円を見込んでいる。
- ② 教育研究経費は、施設設備の維持管理、ICT 環境の充実、情報管理室業務および図書館業務のアウトソーシングほか特別事業費および減価償却額などにより、21 億 2 千 5 百万円を計上している。
- ③ 管理経費は、教育研究経費と同様に施設設備の維持管理費と事務システム関連経費、周年事業費および減価償却額などにより、5 億 3 千 3 百万円を計上している。

これにより、教育活動による収支差額は 3 億 1 千 5 百万円(収入超過)となる見込みである。

(2) 教育活動外収支、経常収支について

資金運用による受取利息配当金収入が 2 億円、借入金利息の支払額が 5 百万円となり、経常収支における差額は 2 億 1 百万円(収入超過)となる見込み。

(3) 特別収支について

その他の特別収入として主に施設設備に対する助成金等を 3 千万円見込んでいる。また、施設設備(備品、図書を含む)の除却額等の固定資産処分差額を 3 千万円計上している。

これらにより、基本金組入前当年度収支差額は 5 億 1 千 5 百万円を見込んでいる。当年度の基本金組入額は、施設・設備の整備及び教具・器具・備品の取得及び借入金返済などにより 6 億 2 千万円を計上している。この結果、当年度収支差額は 1 億 4 百万円の支出超過となる見込みである。

2. 資金収支予算書について(別表2)

収入の部は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入、資産運用収入、退職金団体交付金を含む雑収入などにより、当年度収入額は 79 億 4 千 8 百万円となり、前年度繰越支払資金と合わせて収入額合計は 119 億 4 千 8 百万円となる見込みである。

支出の部は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等返済支出、施設・設備関係支出等により、当年度支出額は 79 億 9 千 8 百万円となり、翌年度繰越支払資金は 39 億 3 千 6 百万円となる見込みである。

別表1 事業活動収支予算書

(単位:百万円)

		令和4年度 (2022)	令和3年度 (2021)	
教育活動収入	科目	金額	金額	
	学生生徒等納付金	4,579	4,510	
	手数料	137	137	
	寄付金	58	84	
	経常費等補助金	1,089	1,106	
	付随事業収入	4	4	
	雑収入	178	153	
	教育活動収入計	6,046	5,994	
	教育活動支出	科目	金額	金額
		人件費	3,072	2,998
		教育研究経費	2,125	2,193
		管理経費	533	526
		徴収不能額等	1	1
		教育活動支出計	5,730	5,718
教育活動収支差額		315	277	
教育活動外収入	科目	金額	金額	
	受取利息・配当金	200	218	
	その他の教育活動外収入	6	9	
	教育活動外収入計	206	227	
	教育活動外支出	科目	金額	金額
		借入金等利息	5	8
その他の教育活動外支出		-	5	
教育活動外支出計		5	13	
教育活動外収支差額		201	214	
経常収支差額		516	490	
特別収入	科目	金額	金額	
	資産売却差額	-	118	
	その他の特別収入	30	86	
	特別収入計	30	204	
	特別支出	科目	金額	金額
		資産処分差額	30	41
		その他の特別支出	-	-
特別支出計		30	41	
特別収支差額		△ 0	164	
基本金組入前当年度収支差額		515	654	
基本金組入額合計		△ 620	△ 642	
当年度収支差額		△ 104	12	
前年度繰越収支差額		△ 2,883	△ 2,895	
翌年度繰越収支差額		△ 2,987	△ 2,883	
(参考)				
事業活動収入計		6,281	6,426	
事業活動支出計		5,766	5,772	

別表2 資金収支予算書

(単位:百万円)

科目	令和4年度 (2022)	令和3年度 (2021)
収入の部		
学生生徒等納付金収入	4,579	4,510
手数料収入	137	137
寄付金収入	58	86
補助金収入	1,107	1,173
資産売却収入	1,421	1,421
付随事業収入	10	13
受取利息・配当金収入	200	218
雑収入	184	150
借入金等収入	1	1
前受金収入	1,065	1,096
その他の収入	426	363
資金収入調整勘定	△ 1,240	△ 1,203
当年度資金収入合計	7,948	7,965
前年度繰越支払資金	3,986	3,983
収入の部合計	11,934	11,948
支出の部		
人件費支出	3,063	2,995
教育研究経費支出	1,552	1,603
管理経費支出	510	507
借入金等利息支出	5	8
借入金等返済支出	300	299
施設関係支出	171	254
設備関係支出	316	163
資産運用支出	1,998	2,094
その他の支出	230	206
資金支出調整勘定	△ 145	△ 166
当年度資金支出合計	7,998	7,962
翌年度繰越支払資金	3,936	3,986
支出の部合計	11,934	11,948

注) 金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。